

H22 福生市LAS-E 共通実施項目監査 個別所見まとめ(評価別)

1. 改善要望事項(△)

部署番号と部署名	設問番号	所見
2 企画調整課(企画調整担当)	29	面談の一般職員(課長補佐)は、ごみ排出量の削減について認識はありましたが、面談後、一般職員に抜き打ちに質問したところ、不要になった紙の処理などの認識が欠けているように感じました。一般職員全員への認識・理解を研修などを通じて徹底して欲しいと感じました。
7 総務課	14	休日前日のパソコン電源オフは指示されているが、定期的な研修は実施していないと回答があった。なお、様式5では実施報告されている。
7 総務課	32	一般職員への質問に対し、実行責任者が途中で回答を補っていた。
22 介護福祉課	33	ハンドブックに即した回答ができなかった。
29 施設課	42	数値による独自目標について、職員ハンドブックの記載されているページが分からなかった。
36 福生市第二小学校	32	印刷物発注に際し「大豆インク」の存在を知らなかった。その他のことは履行できていた。
36 福生市第二小学校	15	実行責任者が部署別環境負荷排出量調査を知らなかった。それには原因があり、市職員のPCでしか見られないことが原因。事務局でも善処してほしい。
38 福生市第四小学校	16	・「事務局への提出書類」や「コピーと印刷機の枚数」など管理者と事務現場の連携を良くしていく意識を持っていただきたい。印刷機を使うのは8枚以上刷る時ということで、ハンドブックにある「20枚以上」と違っており、その根拠が不明だった。 ・進捗確認シートなど記録様式の管理が不明確だった。
48 中央体育館・スポーツ振興課	36	出入業者への要請について即答がなく、ハンドブックを開いていなかった。
50 松林会館	12	実行責任者として認識がなく、職員ハンドブックの記載ページがわからなかった。独自目標のやっていることと、運用状況チェックにチグハグがあった。
50 松林会館	17	〃
50 松林会館	41	個々の事案は答えられたが、地球全体におよぼすことについて回答できなかった。
57 福祉センター	42	福生市環境マネジメントシステムに数値による独自目標が定められており、目標について説明を求めたが答えられなかった。ハンドブックを読んでいないと感じられました。
58 田園児童館	28	20枚以上の印刷物の場合、印刷機を使うように規定されていますが、ここでは30枚以上という基準で行う「誤解」がありました。この点はハンドブックと様式5に明記されており、実行責任者の研修ないし認識・理解の把握徹底が求められます。
60 熊川地域体育館	12	実行責任者としての役割が認識されていない点がある。エネルギー使用量の報告等、現状を把握し、改善に活かしてほしい。
60 熊川地域体育館	17	運用状況チェックシートを確認したところ△印が多く、実態が不明確である。独自の工夫が行われているとの確認はできなかった。

2. 勧告事項(×)

部署番号と部署名	設問番号	所見
20 社会福祉課	18	環境基本計画実行計画にもとづく担当事業があるにもかかわらず、認識されていなかった。こんなことでは実行計画が進捗するはずがない。
20 社会福祉課	16	様式を把握していない。
22 介護福祉課	18	担当事業を把握していなかった。
22 介護福祉課	16	様式を把握していない。
43 福生市第二中学校	41	環境影響の記載ページを知らなかった。一般職員がハンドブックをあまり読んでいないように見える。
50 松林会館	39	環境基本計画について担当者が職員ハンドブックの理解がなく、答えられなかった。

3. とくに優れた取り組み(◎)

部署番号と部署名	設問番号	所見
5 秘書広報課	7	実行責任者の方のハンドブック熟知度が非常に高く、一つ一つの設問に対しての返答内容が適確にされていました。
5 秘書広報課	9	〃
5 秘書広報課	11	〃
5 秘書広報課	14	〃
5 秘書広報課	28	設問は紙使用の削減でしたが、プリンター使用時の印字濃度を薄めに設定している等、工夫が判りました。(会議資料に適用しているとのこと)
13 課税課	11	ノーマイカーデー月2回のところを、課独自で週1回実施している。
13 課税課	7	紙削減について目標より95%達成できているのはすごいです。(税システムの新システム移行に伴い、プリントしないで対応したため。法人市民税について。)
19 協働推進課	35	普段の通勤は電車とのことでしたが、本人が車を使用する場合や家族で使用する場合も、常に「エコマーク」が点くような運転を心がけているとのこと、職場でのLAS-Eの活動がプライベートにまで浸透している様子が伺えました。
26 すみれ保育園	12	パートの方も含めて、同じ仕事をしている仲間としてLAS-Eを良い形で伝えている。毎朝の朝礼の時にLAS-Eの取り組みを話す、各部屋に手作りポスターを張るなど、無理なく全員を巻き込んでいた。
26 すみれ保育園	17	職員が話し合いを徹底し、納得して実践している上、園児たちにも率先して環境教育を保育課程に盛り込んでいる。水や電気を節約し、細い紙ごみなども園児自らが実践し、家庭にも伝えている。そのため保護者の意識も高まり園が実践していることに協力している。園での実践が良い形で広がっていると感じました。
26 すみれ保育園	38	園の行事(入学式や運動会)や懇談会の時に、保護者に市のLAS-Eの取り組みを伝え、保護者も理解し協力している。LAS-E導入当時から「市長のMyはし」ポスターや、園の独自目標などを書いたものを張り、啓発している。当時からLAS-Eを理解し周知する実践が素晴らしいと思いました。
28 まちづくり計画課	33	現場から帰った際、汚れた手を洗う時に一度水栓をし、ため水で汚れを落とし、それからきれいな水で洗うようにしている。
32 選挙管理委員会事務局	17	・ドアのある事務局で、今までは開け放しにしていたが、冬など24℃にしないと寒いので、ドアに貼り紙をして(LAS-Eのため閉めています但し関係者は入って下さい、など)利用者に協力を求めながら、ドアを閉め温度設定が低くなるようにしているのが良い。 ・なおかつ室内の温度を確認し、室内の温度が低温でより過ごしやすくなるようにミニ扇風機などで室内温度を工夫していた。
34 指導室	19	都教委のCO2削減月間にのっとり、7つの小学校、3つの中学全体に児童、生徒各人に「家庭CO2チェックシート」を使用して、各家庭のCO2削減を調べていた。子どものうちから環境配慮への意識が芽生える良い試みだと思った。今後も続けてほしい。

36	福生市第二小学校	39	・環境基本計画の基本目標に沿って自発的に児童への授業に取り込んでいる。 (社会科、総合科、理科など) ・特にCO2削減アクションについて具体的な数値で成果を挙げていた。
37	福生市第三小学校	34	市内移動の際の交通は徒歩・電車・自転車を活用しているが、その自転車を放置自転車の回収品をリユースしている。
37	福生市第三小学校	29	ごみ集積所に容器包装リサイクル用の回収箱を設けている。
38	福生市第四小学校	8	・嘱託職員まで浸透していた。 ・「付箋1枚も資源」という意識で削減に取り組んでいた。
39	福生市第五小学校	17	独自の工夫についても、すらすらと説明をいただき、水曜日の18時退勤の徹底や、庁舎よりバックされた各エネルギーの使用量を実行責任者が自らまとめ、金曜日の職員朝会で発表しているなど細かな活動も見受けられました。また職員研修として、1学期にごみの分別実習を行い、理解を深めたとのことでした。
40	福生市第六小学校	31	冷暖房のスイッチに月別に年度で使用料・使用量を対比する用紙や、機器の稼働記録を貼ってあった。
41	福生市第七小学校	12	・実行責任者の環境配慮の意識が高い、また学校全体で取り組んでいる。CO2削減の学校での取り組みで東京都から表彰されている。 ・実行責任者としての役割は当然のこと、「子どもたちが大人になった時に環境配慮ができる大人に育てることが大切」と明言されており、プラスアルファの役割を果たされていると感じました。
42	福生市第一中学校	8	校内でのごみの分別、持ち帰り、裏面利用等、徹底した削減に取り組んでおり、数年前は年間1000kgを超えるごみを排出していたが、22年度の6月からは、可燃・不燃ごみに関して0kgとしている。
42	福生市第一中学校	17	独自の工夫に対して、実行責任者、一般職員以外にも生徒に対し日直当番による消灯の確認など全校をあげ自主的に行っている。
43	福生市第二中学校	9	生徒への指導が行き届いている。都のエコ月間への応募をうながし、表彰を受賞していた。生徒の自宅の電力使用の削減量を具体的な数値で取り扱っている。
44	福生市第三中学校	8	・ごみ排出量削減を生徒と一緒に進めていた。学校全体としての取り組みを感じた。 ・ごみ箱の分別が分かりやすくできるよう、ごみ箱に大きな表示があった。しかもごみが増えないようごみ箱は小さくしていた。 ・校内のいろいろなところにデザインの工夫をしたLAS-E絡みのポスターがあり啓発意識を感じた。
45	第一学校給食センター	17	独自目標には挙げていないが、地場野菜を給食に利用し「地産地消」を導入しエコ活動を実施している。広い意味で地球温暖化防止活動を実施中。
46	第二学校給食センター	8	ごみ減量に①ごみ業者への引き取り徹底②油1斗缶50円で引き取ってもらっている。また廃油せっけんをつくる時も、50円で環境課に売っている③野菜くずは養豚業者に売り、肥料にしている。将来的には市民農園などにも利用を考えている。
51	白梅会館	18	コンポスター購入生ごみを、裏の畑の肥料として活用されていました。
53	武蔵野台図書館	17	エコ関係の展示が良くされていた。 ①環境基本計画・LAS-Eの展示 ②自然環境の本を展示し貸し出しをしていた。
54	わかぎり図書館	8	ごみ排出量削減をLAS-E開始から周知徹底して分かりやすくアピールしていた。またLAS-Eに取り組むつつも利用者の市民にもポスターなどで分かりやすくアピールしていた。
54	わかぎり図書館	15	集中冷暖房で温度調節がうまくいかないことなどをポスターなどに明確に書くことによって、利用者に協力・理解してもらっている。利用者から不満になりそうなことをうまく協力していただくようにしているところが良いと思いました。
54	わかぎり図書館	17	・不要な郵便物が来ると捨てていたものを、送り先に送らないように要請しごみを減らしたのが良い。またただ断るだけでなく、必要になった場合も復活できるようにしている配慮が良い。 ・必要以上に多い送付物を同館の規模に合った枚数を先方に知らせてごみを削減しているのが良い。

4. 良かった点

部署番号と部署名	設問番号	所見
2 企画調整課(企画調整担当)	—	面談の実行責任者、一般職員はともにLAS-Eについてよく認識・理解されていました。
4 財政課	—	・前回監査で△がついていたが、今回の監査ではハンドブック記載の実行責任者の役割はよく理解されていた。 ・独自の環境配慮工夫については確実に実施されているようでした。 ・紙や電気など使用量削減などの認識は周知されていた。
8 国体準備室	—	・環境配慮行動について回覧し、徹底を図っている。 ・国体のPRのため、各種イベントにブースを出して参加する際、パネル等新しく作るのではなく使い回す工夫をしている。 ・個人ごみは各自で分別し、管理している。
11 契約管財課	—	独自の工夫として、電子入札の導入により、コピー用紙で年間2万枚以上の削減見込みとの報告があった。
13 課税課	—	実行責任者の方は努力していると思います。
14 収納課	—	公用自転車の利用状況、マイはしの利用状況など、様式以外の記録もされていました。LAS-Eへの積極的な参加を感じました。
16 地域振興課	—	LAS-E進捗状況等の各報告資料の完備、環境基本計画実行計画の担当事業については適確な説明と進捗状況について良く把握されていました。
17 環境課	—	一般職のハンドブックが手垢が付くほど読み込まれていました。また、ハンドブックの様式に直接報告を記入している等、紙を1枚でも減らす工夫が良かったです。
18 リサイクルセンター	—	平成22年4月より太陽光パネル発電システムを導入し、使用電気の約3%に相当する発電を実施している。また一日の発電状況を時系列的にグラフで目視できて、施設の見学者へのPRを行い、省エネルギー活動のPRを実施している。
21 障害福祉課	—	独自工夫：既存の標語とセットで自らの取り組みを掲げ意識高揚を図っていた。「エコドライブ、エコオフィス宣言」ということで。
22 介護福祉課	—	前回指摘された点は改善されている。
23 健康課	—	指摘事項がよく改善されていた。(22年度は研修を毎月実施)
24 子ども育成課	—	・昨年勧告された部分が是正され、一般職員までハンドブックを読み込んでいました。 ・質問項目にも、すぐにハンドブックのページを開いていました。
25 子ども家庭支援センター	—	・独自目標の設定：床暖房の午後4時以降の余熱利用、自動点灯の外灯を季節によって手動で管理している。(細かい点だが、取り組みの姿勢は評価できる)
26 すみれ保育園	—	LAS-Eに対して、実行責任者をはじめ職員が積極的に取り組んでいた。
27 子育て支援課	—	1. 職場の取り組み項目として「用紙使用量の削減」を掲げ、「縮小」「文章の簡潔化」「メモの活用」等の細かい工夫をされています。 2. 納入業者の納入の都度、環境配慮要請を行い、それを記録するなどきめ細かい意識的管理がなされていると感じられました。
28 まちづくり計画課	—	環境基本計画実行計画の中に玉川上水遊歩道が計画されているが、その一部として、2011年1月に拝島駅北口と陸橋の間に「市道93号線」が開通された。目に見える形で初めて実行できた。
30 会計課	—	ごみ排出量の削減での取り組みで、雑紙BOXの設置(ホチキスの針を取るなどの貼り紙もありました)、マイはしの持参、購入した弁当・飲料等の持ち帰りなど徹底されていました。独自で30分以上の離席時、パソコン使用しないときに電源を切るという取り組みがされていました。
32 選挙管理委員会事務局	—	・選挙という一度限りに使う消耗品(選挙ボードや投票用紙など)を環境にやさしい再生ボードにしたり、使用後に養生シートなどにできる品を費用対効果を考え厳選しているのが良かった。 ・再生できるものという意識が事務局全体に浸透しているのが良かった。
33 教育委員会庶務課	—	独自の環境配慮の工夫として、「環境当番」を設定し、パソコンの電源OFFなどに取り組んでいました。

34	指導室	—	昨年の勧告が是正されていた。一般職員までハンドブックを熟読していた。質問の説明も具体的であり、昨年のように漠然とはしていなかった。
35	福生市第一小学校	—	印刷室はきれいに整頓されていた。
36	福生市第二小学校	—	・CO2削減アクション月間(東京都教育委員会)に応募され表彰を受けていた。(21年度、22年度) ・具体的数値も把握されていた。
38	福生市第四小学校	—	学校に入った時「LAS-E歓迎」の立て札がうれしかった。
40	福生市第六小学校	—	「校報」を発送する際、帯付に裏紙を使っている。
41	福生市第七小学校	—	・平成20・21年で実施した「新しい環境教育への取り組みの在り方に関する調査研究事業」の内容をその後も継続している。 ・印刷室・職員室が整理整頓され、とてもきれいでした。
43	福生市第二中学校	—	生徒への指導も行っていた。
45	第一学校給食センター	—	・前回の指摘事項を改善され、LAS-Eの講習も各担当者毎にテーマを設けて実施している。 ・業者さんへの指導が徹底している。 ・食の安全、水の節水努力、地場野菜の給食利用による農家への支援・活性化などが図られている。
47	生涯学習推進課	—	管理している施設での環境対策として緑のカーテンを実施したことは、地球温暖化への対策であると同時に、副産物であるゴーヤの利用者への配布により、利用者への意識づけが図れていた。
51	白梅会館	—	細かく削減に気を使っていた。
52	中央図書館	—	・毎月10日、LAS-E研修時に活動の実践について職員が発表を行って意識の高揚を図っている。 ・イベントコーナーにおいて、エコに関する書物を展示して市民にアピールしている。
54	わかざり図書館	—	古い建物なので冷暖房費がかかってしまう悩ましさがありながら、今できる範囲の様々な工夫をしているのが良かった。
55	わかたけ図書館	—	学童クラブの職員、児童、わかたけ会館利用者にも、福生市の環境配慮への取り組みについてわかりやすく説明し、「一緒に取り組みましょう」のポスターが掲示され皆で取り組んでいる様子がわかった。独自の工夫の緑のカーテンも写真を撮り一生懸命に取り組んでいた。
56	生涯学習推進課(文化財係)	—	文化財・史跡保護など、自然の保全について意識を持って業務していることが分かり良かったです。
57	福祉センター	—	・照明スイッチを小分けにする改修を行い、小まめに消灯できるようにした。 ・その他、緑のカーテン、お風呂の太陽熱利用、雨水の再利用など施設全体で様々な工夫がされていました。
59	市民会館	—	改善要望事項は是正され、毎月の研修も筆記型の研修という独自の方法をとっていた。
60	熊川地域体育館	—	指定管理という施設であるが、自分たちのできることを精一杯やろうとしている。ごみ持ち帰りの声かけ、休みを利用した研修など。
64	議会事務局長	—	課の独自目標で掲げている議員の取り組みとして、マイカップ・マイはしを実際に行い、紙コップ・割箸の使用を極力減らして良かった。
67	市民部長	—	「多くの職員がきちんとしていても、うっかりな人がいたらペナルティになってしまいます(ごみ捨てがフロアごとだから…)」などと話され、全職員の意識をどうまき込むかなども話されていたのが、推進委員として意識をもって実施していると感じました。
68	生活環境部長	—	生産緑地の減少に困る農業振興計画、23年度のモデル事業となる「自転車の街づくり」の説明等、具体的なビジョンを適確にお答えいただきました。
69	福祉保健部長	—	職員の意識を変えることを大切にして、日常の働きかけ、指示をしている。
71	都市建設部長	—	公共事業を担当している部ということから「環境影響事業」との認識に立っている。計画設計段階から環境配慮を実行している。
72	会計管理者	—	・環境推進委員会で話し合われたことを職員に伝えるなど、小さなことも継続してやっていこうと取り組まれています。 ・常駐の銀行業者に対しても、LAS-Eハンドブックを渡してごみの分別・持ち帰り、節電などが徹底されていました。

5. 総合コメント、その他

部署番号と部署名		設問番号	所見
2	企画調整課(企画調整担当)	—	企画調整課は環境基本計画実行計画にもとづく担当業務は少ない。No.19の質問は他の質問に変えた方が良いと思う。No.23とNo.26は一つの質問にまとめた方が良いと思う。
4	財政課	—	全体としてLAS-Eの取り組みは良好であった。
6	情報システム課	—	コピー用紙の使用量増大に苦慮されている様子でした。提案として使用目的を市民用、議会用、業務用等に区分して管理し削減を計る事も考慮して下さい。
7	総務課	—	・個人ごみの持ち帰りは係全員で徹底されているが、ハンドブックを読み込み目標の再確認などに取り組んでいただきたい。
8	国体準備室	—	・国体準備室として初めて監査を受けたとのことだが、職員ハンドブックは読み込んでいたと感じた。 ・国体運営の指針に沿って環境に配慮して準備を進めるとのことでした。
9	安全安心まちづくり課	—	様式5の事業者への要請が記入されていませんでした。貼り紙を見ながらでの会話でも、是非様式にも記入してみてください。
10	職員課	—	・課としては内部業務主体であるが、その業務範囲でひととおり行動している。 ・都、国、他自治体からの情報を全て電子化し、ペーパーレスで効果を上げていた。
11	契約管財課	—	・全体的なことですが、5階全体のごみ箱の使用について、紙類とプラスチック類を分けていない、個人ごみ等の混入があるなど、分別の徹底が必要と思われます。 ・庁舎管理担当課として、各職場へ庁舎内ごみ排出のルールを徹底するよう指導していく必要があると思われます。
12	総合窓口課	—	・一般職員までハンドブックをよく理解していると感じました。 ・水のところで女性トイレに「音姫さん(?)」的な音消しがあると水の削減になるのでは?という話がありました。(女性の市民にとっても音消しがあれば、水を余計に流さずに済むと思います)
13	課税課	—	紙使用の削減については、システムの入替りに準じてシステム会社と協議し、紙を使用しない方法で削減を実行している。
16	地域振興課	—	LAS-Eの取り組みは全体として良好でありました。
17	環境課	—	事務局担当課のために、全ての設問に対して実行責任者の方も一般職員の方も完璧に答えていただけました。本来であれば◎の評価となるところですが、「事務局」ということで○とさせていただいております。
20	社会福祉課	—	燃料使用量(ガソリン)を数値で把握し、目標に掲げた数値(前年同期以下)を下回る結果が出せていた。おおむねLAS-Eの活動が実践できている。
21	障害福祉課	—	設問そのものではなかったが全体的にハンドブックを読んでいないように見受けられた。一般職員が目を通すよう努力されたい。
22	介護福祉課	—	実行責任者等、ハンドブックの読み込みが足りない(理解不足)と感じた。
24	子ども育成課	—	紙の削減を意識しているが、業務上、紙をたくさん使う部署のため削減がしにくいようでした。そのジレンマをかかえながら、できるところは努力されていました。
25	子ども家庭支援センター	—	・紙使用量の削減:両面印刷、プレビューで確認してから印刷する、裏面使用など徹底されていたが、印刷機を使う部数は統一したルールで行った方がよいと感じた。
26	すみれ保育園	—	・実行責任者からパートの方まで、自然体で楽しく取り組み効果を生んでいる。 ・園児たちにも環境教育が浸透するよう、絵本などにある環境の話をパネルなどにしているなど、小さい頃から環境教育を良い形で実践しているのが素晴らしいと思った。
29	施設課	—	公共事業について、契約書にLAS-Eの特記事項を入れたり、エコ製品の導入やリサイクルで、環境意識の向上を図っていた。
30	会計課	—	職員の目につくところに節電・LAS-Eの貼り紙などをしていること、常駐の銀行業者に対してもLAS-Eハンドブックを渡して、ごみの分別、持ち帰り、節電などが徹底されていました。
31	監査委員事務局	—	環境保全・改善の視点からも監査業務を行っているとの確認を得ました。

32	選挙管理委員会事務局	—	電気代の節約で、蛍光灯を間引きし、長期間たつと安定器がダメになってしまうという。設計から蛍光灯が間引きできるものでなければ、安全器の修理費用がかかるのはどうなのだろうか…と、環境と費用対効果を考え実践されていたのが良かったと思いました。(この職場では手動で間引きができるので、そのようにしていた)
33	教育委員会庶務課	—	ハンドブックを良く読んでおり適確に答えていました。
35	福生市第一小学校	—	普通教室は全館空調となっているが、部屋によって温度差が大きく、温度管理に苦労している。
36	福生市第二小学校	—	全般的にハンドブックに沿ってやれるところはやっている。
37	福生市第三小学校	—	普通教室は全館空調となっているが、部屋によって温度差が大きく温度管理に苦労している。
39	福生市第五小学校	—	・授業や出張のため、一般職への質問を責任者の方へさせていただきます。 ・第1・第2木曜日のノーマイカーデーに何らかの理由により車で来てしまった場合は「代替日」を設定し、独自にノーマイカーデーを守らせていました。
41	福生市第七小学校	—	雨水の利用については学校で苦慮している。予算がつけば利用したいとのこと。
43	福生市第二中学校	—	全体的に真面目に取り組んでいる。紙・電気の使用や職員への教育もなされている。独自の工夫で電力量の削減を掲げているが、目標が定性的にとどまっている。できれば定量的目標が望ましい。
46	第二学校給食センター	—	・今まで業者発注していた献立表を来年度から自分たちで作るようにして、印刷代を紙代のみにする ・自分たちで献立表を印刷する時に印刷機が同じ敷地内の4小のものが使えると、職員の負担軽減と機器の有効活用が図れると思う。(現在は3小にある第1給食センターに行っている)
47	生涯学習推進課	—	実行責任者及び職員もよくハンドブックを理解しているように感じた。
48	中央体育館・スポーツ振興課	—	・試験的に事務室へLED蛍光管(4本)を取り付けている。単価が高い点が課題とのこと。 ・集客施設として利用者の要望とLAS-E取り組みのバランスをとることが難しいとのこと。
49	公民館	—	公民館の性格上、多方面との関係があり管理が難しいと感じた。特に紙の使用量について各戸配布の文書もあり、年度目標値を大幅に大回る見込み。今年度は40周年記念行事もあったことにもよる。来年度より各戸配布の書類は外部へ出す予定であり、大幅に減少する見込み。他の項目については、それなりに管理している。
50	松林会館	—	個々の取り組みは良く行っていたが、職員ハンドブックを読んでいない部分があり、チェック体制や報告に対する認識がなかった。
51	白梅会館	—	実行責任者の方、質問について戸惑いがありました。
52	中央図書館	—	・館長不在の為、実行責任者代行が対応しました。各項目に対応しての回答はほぼ満足したものでした。 ・一般職員の回答は十分なものでした。よく勉強していました。回答した以外の職員のLAS-Eへの認識も深いように感じられました。
54	わかざり図書館	—	LAS-E導入当時から意識を持ち意欲的に取り組んでいることがうかがえました。
56	生涯学習推進課(文化財係)	—	報告方法が図書館と生涯学習推進課(文化財係)の二重になって管理されているので、事務局と相談し見直してほしい。
58	田園児童館	—	1. 職場全体に整理整頓が行き届き、ごみの分別処理も正しく行われていました。 2. ノーマイカーデーの趣旨に沿った取り組みを徹底されると、なお一層、環境に貢献できる余地があるように感じました。
59	市民会館	—	実行責任者が率先して取り組み、細かな点についても気を配っていた。
60	熊川地域体育館	—	今回が初めての監査。そのためか実行責任者がLAS-Eへの理解が不足しているように感じた。熱意はあるため、頑張っていたきたい。
63	教育長	—	所管されている部署が多いですが、各実行責任者(校長)に対しての指導を徹底されている様子をうかがうことができました。

65	企画財政部長	—	情報システム課も所管しているため、コピー用紙に関して「供給を停止」して削減を試みたり、室内の蛍光灯のLED化のランニングコストのシミュレーションを企画している等、様々な削減に向けて取り組まれている様子がうかがえました。
66	総務部長	—	役所全体の環境配慮を司る部として、ハード面、ソフト面ともにとっても高い意識を持たれておりました。平成25年に環境配慮の高い国体ができることを望みます。
67	市民部長	—	ハンドブックにのっとり内容を良く理解されていました。
69	福祉保健部長	—	上記を根本にもち、職員の日常行動については自転車利用等、政策については福祉バスの導入を推進している。
70	子ども家庭部長	—	ハンドブックにのっとり、内容を良く理解されていました。
71	都市建設部長	—	リサイクル、騒音、省エネ、雨水対策など具体的説明を受けた。環境推進委員としての大所高所のお考えも披露していただきたかった。
73	教育次長	—	・環境基本計画の3つの基本目標に立ち帰り、認識しながら教育業務を遂行している。 ・ハンドブックにうたわれている行動の理解も深く、組織を統括されている。
74	教育委員会参事	—	ハンドブックにのっとり、内容を良く理解されていました。